

2010年1~3月期

売れ筋商品決算報告

年末商戦後も勢いの衰えないテレビ市場が、3月末にかけて大きな駆け込み需要を獲得した今年1~3月期の四半期売れ筋データを振り返る。成長期にある市場はもちろん、デジタル化やネットワーク化で大きく意味の置き換わりとしている商品ジャンルなど、少し時間を置き、総括して目を配ることで、その変化やスピードをきちんと捉えておきたい。

集計方法

本誌10年3月号から5月号の市況報告に掲載したモニター店の売れ筋ランキング（10年1月期から3月期に相当）を、毎月の総合ランキングの集計と同様に、1位10ポイント、2位9ポイント、以下、5位6ポイントの要領で得点化。3ヵ月間のポイントをまとめて集計し、総合順位を出した。

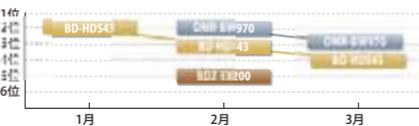
BDレコーダー

1	シャープ	BD-HDS43	103
2	パナソニック	DMR-BW970	101
3	ソニー	BDZ-EX200	88
4	シャープ	BD-HDW43	82
4	ソニー	BDZ-RX50	82
6	パナソニック	DMR-BW680	68
7	ソニー	BDZ-RX100	62
8	パナソニック	DMR-BW780	55
8	パナソニック	DMR-BW880	55
10	パナソニック	DMR-BR570	54

付加価値志向も顕著 上位グレードが好調

シングルチューナータイプのDB-HDS43がトップ。DIGAで商品切り替わりの影響がなかった最上位機DMR-BW970が2位。ソニーもBDZ-EX200が上位に入るなど高価商品が好調。

■総合ベスト3モデルの月別順位の変遷



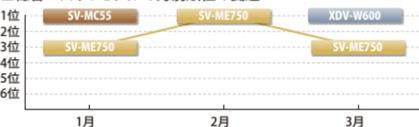
ポータブルテレビ（プレーヤー内蔵機含む）

1	パナソニック	SV-ME750	28
2	ソニー	XDV-W600	27
3	パナソニック	SV-MC55	26
4	パナソニック	SV-ME850V	21
5	パナソニック	DMP-BV100	20
6	東芝	SD-P120DT	18
7	東芝	SD-P735	17
8	ソニー	XDV-D500	12
9	AVOX	CAO-720PD	9
10	ソニー	DVP-FX720	10

売り逃さない 店頭提案強化を

首位のSV-ME750はワンセグテレビ、2位のXDV-W600は防水仕様の“お風呂用テレビ”、さらに、チューナー内蔵型のポータブルDVDなど、多様化するテレビ視聴ニーズを象徴する。

■総合ベスト3モデルの月別順位の変遷



<テレビ&レコーダー>

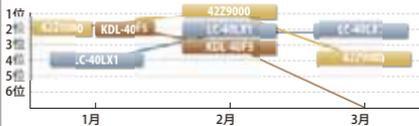
薄型テレビ（40V型以上）

1	東芝	42Z9000	90
2	シャープ	LC-40LX1	87
3	ソニー	KDL-40F5	62
4	ソニー	KDL-40EX700	45
5	シャープ	LC-52LX1	44
6	ソニー	KDL-40V5	43
6	シャープ	LC-40SE1	43
8	シャープ	LC-40AE6	38
9	日立	P42-XP03	36
10	ソニー	KDL-40EX500	31

50V型超で健闘 LED AQUOSが5位

40V型液晶が7商品。商品が切り替わったパナソニックGシリーズも42V型G1とG2で48ポイントと人気。鋭い立ち上がりを見せる3D対応機登場でインテリ動向にも変化が出そうだ。

■総合ベスト3モデルの月別順位の変遷



薄型テレビ（26V型以上、40V型未満）

1	シャープ	LC-32DE5	105
2	東芝	32Z9000	61
3	東芝	32A9005	49
4	シャープ	LC-32DX2	39
5	ソニー	KDL-32EX300	38
6	ソニー	KDL-32J5	33
7	東芝	32H9000	30
8	シャープ	LC-32D56	29
9	シャープ	LC-26D50	27
10	ソニー	KDL-32F5	26

割安感の高い32V型 2台目需要も後押し

画面サイズと価格とのバランスがもっとも高い32V型が8商品。26V型は1商品にとどまった。各種ポイントを勘案すれば5万円を割り込むこともあるLC-32DE5が destaque。

■総合ベスト3モデルの月別順位の変遷

